

## ■ ビーコンコメント、ポジションコメント

2009/06/14 JF1AJE

### ■ ビーコンコメント

メーカーやクライアントの違いにより、「ビーコンコメント」「ステータステキスト」「コメントテキスト」等いろいろな呼称がありますが、所謂「ビーコンに付帯して送信するコメント」のことです。

特にデジピーターではこのコメントによりデジピーターの属性（機能）を伝えることになっており、とても重要な意味を持っています。また、移動局やオブジェクト等がビーコンコメントの先頭に音声通話周波数（含V o I P）を記述しておくこと、このビーコンを受信したTM-D710ではワンタッチでその周波数を設定する機能（QSY機能）があります。

#### ● 移動局

特に決まったフォーマットはありません。ビーコンコメントを発信していない局も多いですが、他局とのコミュニケーションのために発信しているビーコンですから、是非記述してください。

最近では移動局自身がモニターしている周波数やV o I P等を記述している局が多いようです。APRSは双方向通信（含音声）による他局とのコミュニケーションをととても重視していますので、音声で通話できる周波数やV o I Pを明示するのはこれに適合することだと思います。

尚、TT系（位置情報送信のみのデバイス）による位置情報送出手法は厳密にはAPRSではありませんが、コメントに音声通信可能な手段を明示することによりAPRS的な利用方法が可能ですので、是非記載するようにしてください。（これはAPRS-WGのアナウンスです）

#### ● デジピーター

デジピーターは、その属性をビーコンコメントにより明示することがAPRS仕様で決められています。SSID、シンボルとともにこのビーコンコメントはとても重要な意味を持ちますので、決められたフォーマットに則ったコメントを記述してください。

各機器、クライアントでのコメント記述方法は「デジピーター設定マニュアル」を参照ください。

#### ● 補足

ビーコンコメントを固定局で見える場合はPCで見ることが殆どですのでコメントのフォーマットはあまり気を使う必要はありませんが、移動局がTM-D710の小さなディスプレイで見える場合には、「1行目25文字、2行目17文字」という表示形態（改行の位置）になりますので、これを意識してコメント作成をすると、単語の途中で改行されることがなくなるため、移動局でコメントが読み易くなり、スマートです。

## ■ ポジションコメント

TM-D 7 x 0やVX-8にはこのポジションコメントを送出する機能があります。これはビーコン発信局の運用状態を他局に伝えるためにあるものです。いろいろなコメントがありますが、移動局が常用するのは下記ぐらいでしょう。

`off Duty` : オペレーター不在/メッセージ交換や音声通話が出来ない、もしくはしたくない

`In Service` : オペレーターによる運用中/メッセージ交換や音声による交信ができる

`Special` : イベント会場での運用や気球、海上ブイでの運用など

`En route` : 目的地への往路を移動中

`Returning` : 目的地からの復路を移動中

`Committed` : 取り込み中に付きメッセージ交換、音声通話が困難

**EMERGENCY!** : 緊急事態発生により救援求むは発信しない。

位置情報にポジションコメントとして付加して発信する「EMERGENCY!」(エマージェンシー)は、「緊急事態発生! 救援求む」を意味するSOS信号で、米国では実際に組織的に運用されており、とても重要視されている信号です。実際にこの信号を発信したことにより救援が得られ、大事に至らなかったと言う事例もあります。

現在日本ではこの信号を受信したときの対応に関する共通のルールがありませんが、日本国内であってもこのビーコンを発信すると、その信号は世界中に配信され、世界中の多くのAPRSクライアントが何らかの音響や各種表示によるアラームをオペレーターに伝え、救援要請をしているAPRS局がいるという認識をされる可能性があります。過去に日本から発信されたこの信号に対し、諸外国から確認要請のメッセージが日本向けに送られたこともあります。

本当に緊急事態で無い限り、この「EMERGENCY!」信号は絶対に発信しないでください。お試しも厳禁です。

**間違っ**て発信してしまった場合は、ポジションコメントを「EMERGENCY!」以外に変更し、ステータステキストに「**It is a false report. (誤報です)**」など、誤報である旨を示したビーコンを直ちに発信してください。これは万国共通のルールです。

また、このビーコンを発信している局を見つけた場合には、メッセージで安否を問い合わせたり、希望する救援内容の確認を行うと、緊急支援に役立つかもしれません。

2011/04/11 一部変更